

MONO RUBY

Ruby東京イベントレポート2013

実施報告書

ものづくり

×

mruby

ハードウェア、ソフトウェア、デザイン、テクノロジーの垣根を越えてものづくりに関する知識・ノウハウを共有する考え方が世界に広まっています。

mrubyは、プログラミング言語「Ruby」が持つ楽しさを、これまで適用できなかったハードウェアなどの分野に適用させるために開発した言語です。

MONO RUBYはものづくりに対する考えとmrubyのポテンシャルを掛け合わせ、イノベーションを生み出すために企画したものです。

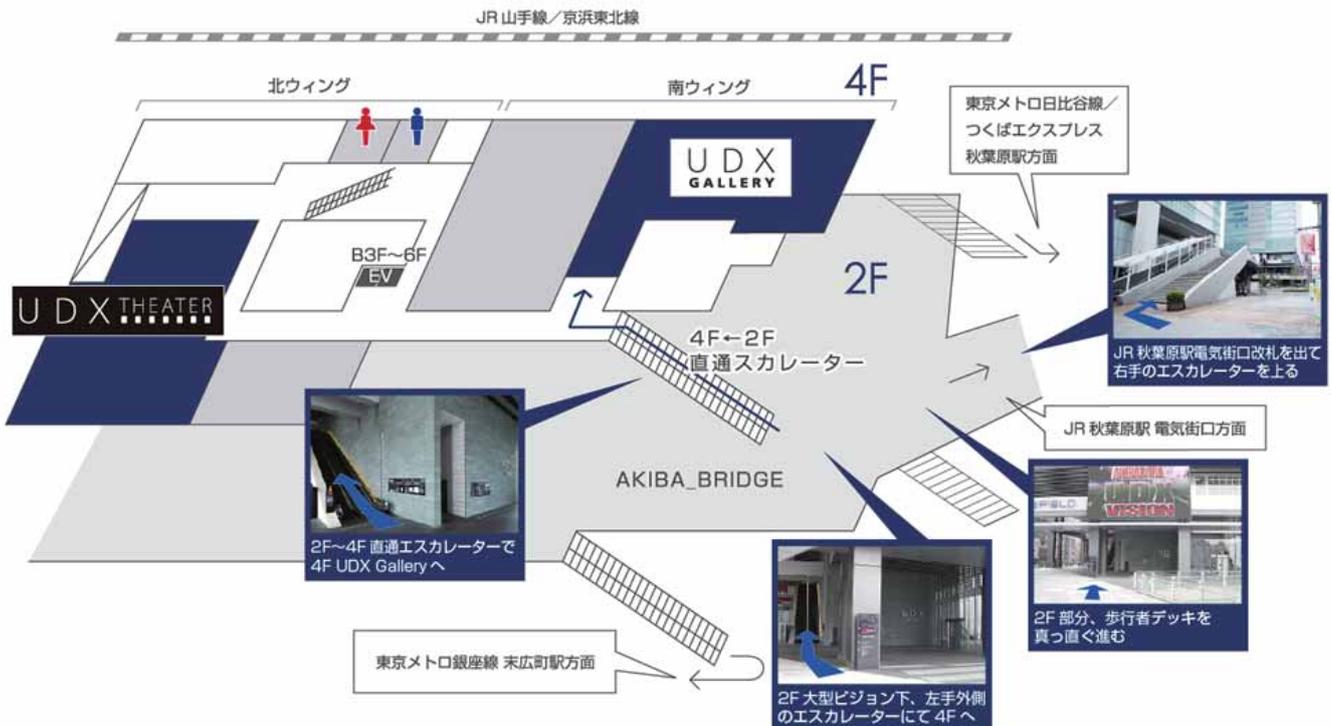
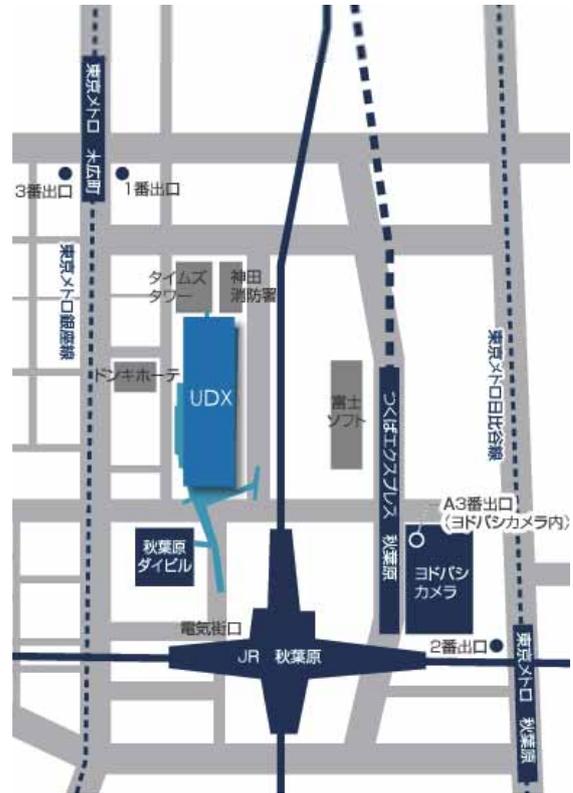
mrubyの最新情報やものづくりの現状の紹介、プロダクトを使ったデモンストレーション、自由な意見交換の場を提供いたします。

実施会場

UDX GALLERY

ユーディーエックス ギャラリー

多目的イベントホール・貸しホール
展示会・プレゼンテーション・セミナー



会場レイアウト

出展者控え室

UDX ギャラリー (秋葉原UDX4F)会場レイアウトサンプル

<お問合せ> 03-3254-8421

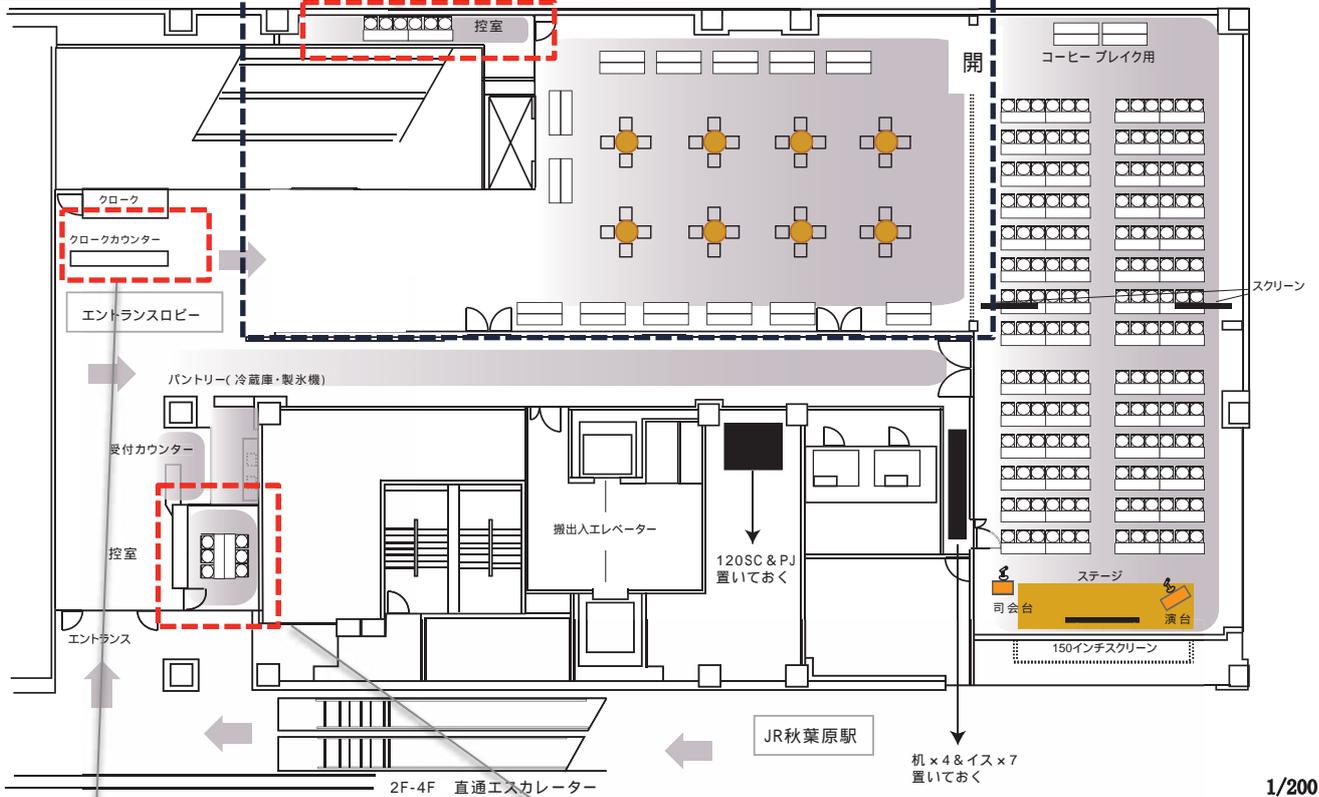
Type L 560m²

Type N

出展ブース×13
机サイズW1800×D900

Type S

スクール形式 168名
(横12名×縦14列)



1/200

秋葉原駅直結! 貸しホール「UDX カンファレンス/ギャラリー/シアター」

会場のご予約・ご見学は随時受け付けております。

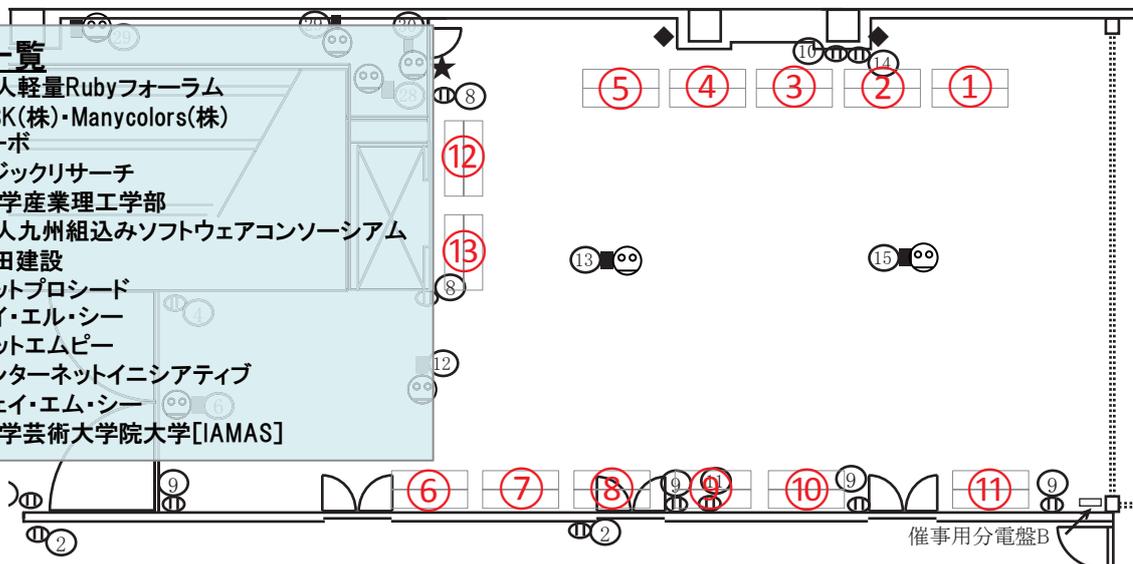
受付

事務局控え室

ブースレイアウト

出展者一覧

- ① NPO法人軽量Rubyフォーラム
- ② 福岡CSK(株)・Manycolors(株)
- ③ (株)リーボ
- ④ (株)ロジックリサーチ
- ⑤ 近畿大学産業理工学部
- ⑥ NPO法人九州組込みソフトウェアコンソーシアム
- ⑦ (株)春田建設
- ⑧ (株)ホットプロシード
- ⑨ (株)アイ・エル・シー
- ⑩ (株)ゼットエムピー
- ⑪ (株)インターネットイニシアティブ
- ⑫ (株)ジェイ・エム・シー
- ⑬ 情報科学芸術大学院大学[IAMAS]



催事用分電盤B

MONO RUBY

Ruby東京プレゼンテーション2013

ものづくり

×

mruby

ハードウェア、ソフトウェア、デザイン、テクノロジーの垣根を越えてものづくりに関する知識・ノウハウを共有する考え方が世界に広まっています。mrubyは、プログラミング言語「Ruby」が持つ楽しさを、これまで適用できなかったハードウェアなどの分野に適用させるために開発した言語です。MONO RUBYはものづくりに対する考えとmrubyのポテンシャルを掛け合わせ、イノベーションを生み出すことを目的に企画したマッチングイベントです。mrubyの最新情報やものづくりの現状の紹介、プロダクトを使ったデモンストラーション、自由な意見交換の場を提供いたします。

PROGRAM

トークセッション

14:00

START

14:05

mrubyのいまむかし

15:35

Coffee Break

15:50

MONO RUBY

17:50

Coffee Break

ネットワーキングセッション

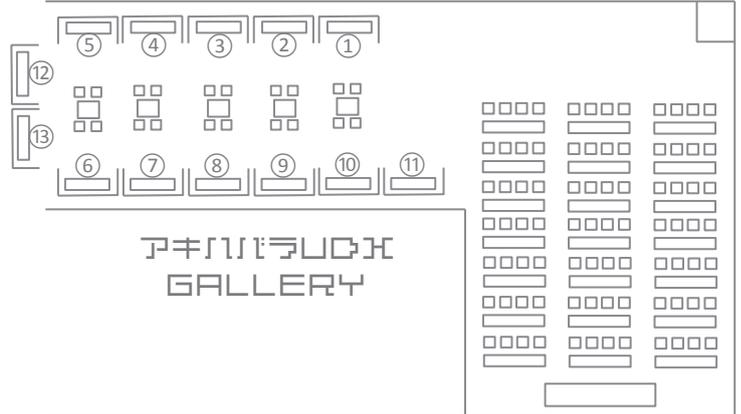
18:00

LT、DEMO、etc.

19:30

END

EXHIBITION SPACE



アキババウチ
GALLERY

SEMINAR SPACE

出展者一覧(順不同)

- ①NPO法人軽量Rubyフォーラム
- ②福岡CSK(株)、Manycolors(株)
- ③(株)リーボ
- ④(株)ロジックリサーチ
- ⑤近畿大学産業理工学部
- ⑥NPO法人九州組込みソフトウェアコンソーシアム
- ⑦(株)春田建設
- ⑧(株)ホットプロシード
- ⑨(株)アイ・エル・シー
- ⑩(株)ゼットエムピー
- ⑪(株)インターネットイニシアティブ
- ⑫(株)ジェイ・エム・シー
- ⑬情報科学芸術大学院大学[IAMAS]



福岡県Ruby・コンテンツ
ビジネス振興会議

mrubyいまむかし

Rubyが世の中にもたらしたものの、mrubyとはいったいなんなのか。オープンソースソフトウェアのビジネスモデルとmrubyの関係。Rubyやmrubyでサービス、製品を作り込むことの意義。Ruby関連の有数のゲストを迎え、mrubyの魅力、期待などを熱く語っていただくセッションです。mrubyの最新情報を得ることができます。

	<p>まつもと ゆきひろ氏【Ruby開発者】 プログラミング言語Rubyの生みの親。株式会社ネットワーク応用通信研究所フェロー、一般財団法人Rubyアソシエーション理事長、米Heroku Chief Architectなど、肩書多数。三女一男犬一匹の父でもある。温泉好き。鳥取県出身、島根県在住。牡牛座。O型</p>
	<p>田中 和明氏【九州工業大学 情報工学研究院 准教授】 1969年、福岡県生まれ。博士(情報工学、九州工業大学)。情報科目(プログラミング、データ構造、データベースなど)、ロボットセンサに関する講義を担当している。研究として、Rubyを使った組込みシステム、データベースシステム等の研究開発に携わっている。また、mrubyの開発を分担している。福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議理事、軽量Rubyフォーラム理事、Rubyアソシエーション理事。</p>
	<p>増井 雄一郎氏【FrogApps, Inc. CTO MobiRuby inventor】 大学時代に起業しWebサイト制作などを行う傍ら、PukiWikiなどのオープンソース開発にも積極的に参加。2003年からフリーランスとなり、Webアプリ開発や執筆を行う。中島聡氏と共にアプリ開発会社を起業するために2008年に渡米。iPhone向け写真共有アプリPhotoShareをリリース。2010年に帰国し、アプリSDK『Titanium Mobile』の伝道師として活動。2012年9月に退職し、現在はFrogApps, Inc.のCTOとして、ミールの開発を行っている。オープンソース活動としてMobiRubyを作成中。</p>
	<p>森 正弥氏【楽天株式会社 執行役員 兼 楽天技術研究所長】 アーキテックチャ部 部長としてマネジメントに従事。しまねOSS協議会 顧問、Rubyアソシエーション評議員、IPA Ruby標準化WG委員、企業情報化協会 ビッグデータ戦略的ビジネス活用コンソーシアム副委員長。著作に「クラウド大全」(日経BP社、共著)、「ウェブ大変化 パワーシフトの始まり」(近代セールス社)がある。</p>
	<p>相澤 歩氏【Heroku, Inc / 株式会社セールスフォース・ドットコム デベロッパーマーケティング Herokuエバンジェリスト】 国内SI企業、外資系コンサルティングファームを経て2012年1月にHeroku, Inc.、株式会社セールスフォース・ドットコム株式会社に入社。また、プログラミング言語Rubyのコミッターでもある。</p>
	<p>橋本 明彦氏【みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第1部持続型社会チーム シニアコンサルタント】 1982年、Fortranのプログラマーとしてキャリアをスタート。流体解析、半導体デバイスシミュレーション等の調査研究、実装およびプロジェクトマネジメントに従事。2005年4月より2007年9月までIPAに出向。2006年1月のOSSセンター開設とともに同センターに所属。OSS活用基盤整備事業の事務局として、自治体OSS導入実証事業を担当。出向元に復帰後は、IPAからOSS活用ビジネス実態調査(第2回・第3回)、Ruby適用可能性調査を受託。現在は経済産業省・国土交通省等からの受託業務に従事。</p>
	<p>立久井 正和氏【株式会社インターネットイニシアティブ プラットフォーム本部長】 ユーザー企業の情報システム部門において、システム導入・運用に携わり、2001年IITテクノロジー入社。システムインテグレーション部門を経て、IITのクラウドサービス「IIT GIO」の前身である「IBPS」を担当。2010年4月、IITとIITテクノロジーの合併により、現職。「IIT GIO」の企画・構想段階から参画し、現在は「IIT GIO」のシステム基盤系サービスの開発・運用を担当。</p>

MONO RUBY

ものづくりとは何か。ツールの発達、異なる世界の人々との知・技・感の共有。mrubyはどこにいくなのか。オープンソースソフトウェアとオープンソースハードウェアの橋渡しにmrubyが果たすべき役割。エコシステムとしてのmruby。これからのものづくり、mrubyが実現する世界、両者の融合で起きるイノベーションについて、先駆者の方々に語っていただくセッションです。mrubyの可能性について知る機会を提供いたします。

	<p>木下 慶彦氏【Skyland Ventures 代表パートナー】 1985年生まれ横浜出身。早稲田大学理工学部卒業後、2009年4月大和SMBCキャピタル入社、2011年8月インキュベイトファンド入社、2012年8月Skyland Venturesを設立し代表パートナー就任。数億円規模のベンチャーファンドの運営とSpinout Summit, Makers Summitなどのカンファレンスを運営し、月間のベンチャーイベントへの動員数約1,000名。</p>
	<p>小林 茂氏【情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 准教授】 電子楽器メーカーに技術者およびサウンドデザイナーとして勤務した後、2004年よりIAMAS。開発したツールキットに「Gainer」「Funnel」「Arduino Fio」。著書に『Prototyping Lab』『+GAINER』など。IPA(情報処理推進機構)よりスーパークリエイターに認定。昨年より、地域のメーカーと共にイノベーションを創出するための拠点「f.Labo」のプロデュースも担当。</p>
	<p>谷口 恒氏【株式会社ゼットエムピー 代表取締役社長】 文科科学省傘下の研究所が開発した人型ロボットPINOの技術移転を受けて2001年にZMPを創業。家庭向け人型ロボットnuvoや家の中を自動で移動して好みの音楽をかけてくれる音楽ロボットmiuro、それらの技術をクルマに搭載しRoboCarシリーズ等々、製品コンセプトとプロデュースを手掛けてきました。mrubyを活用することによってクルマとITの融合を加速して、全く新しいユーザ体験を提供するクルマづくりに貢献したいと思っています。</p>
	<p>湯前 裕介氏【株式会社ホットプロシード 代表取締役】 1964年生まれ。学校卒業後、家業の建築関連に10年従事。その後福岡の医療設備会社に転職後10年従事したのち、ロボット関連事業「ホットプロシード」を立ち上げ、ロボット関連業務の中でパーソナル3Dプリンタの開発、販売を手がける。のちに「株式会社ホットプロシード」に変更後、現在の3Dプリンタ「Blade-1」の販売を開始。現在に至る。</p>
	<p>渡邊 大知氏【株式会社 ジェイ・エム・シー 代表取締役】 6年間プロボクサーとして活躍後、父親の経営する樹脂成型会社へ入社。2004年、代表取締役社長就任と同時に抜本的な経営改革に取り組み、2006年に(有)エス・ケイ・イーと合併し、製造業に進出。以後多彩な成形加工技術と素材技術を活かし、技術提案型の成形事業を展開。現在はメディカル分野にも着目し、製造業のイメージ向上と近代化への取り組みが注目を集めている。※参考: ワールドビジネスサテライト「町工場発 ものづくり革命」(http://www.tv-tokyo.co.jp/mv/wbs/feature/post_32035/)</p>

トークセッションの様様



会場は168席に対し151席とほぼ満席状態



終了時刻間近まで質疑応答が続いた



「mrubyいまむかし」ではRubyが生まれた経緯、mrubyの開発秘話、mrubyの存在価値、今後の活用の道など、技術、ビジネス、ソフトウェア開発の文化など多岐にわたって話が及ぶ



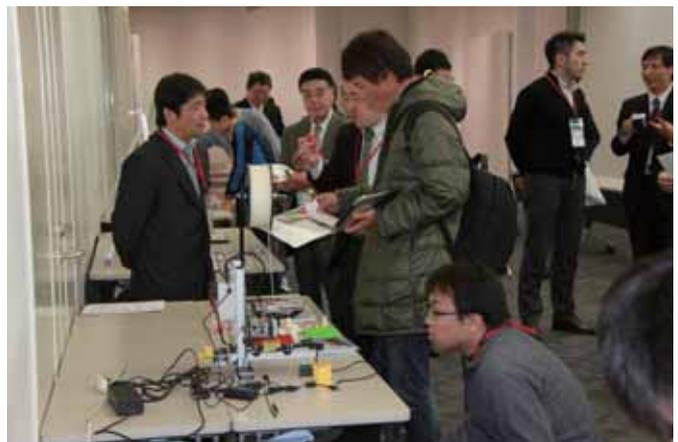
MONO RUBYはものづくりの最前線で活躍する国内有数の企業や大学からパネリストを迎え、日本のものづくりのあり方、技術と感性の融合について活発な議論が交わされ、mrubyが、いわゆるメイカームーブメントのコンセプトにマッチするとの結論に至り、主旨通りのアウトプットとなった

出展一覧

	企業名	住所	展示内容など
1	NPO法人)軽量Rubyフォーラム	福岡市博多区	組織を説明するパネル、パンフ展示
2	福岡CSK(株)	福岡市博多区	出展内容:mrubyラビッドプロトタイプングプラットフォーム“enzi”の紹介 ・パネル、パンフ、enzi基板とPCによるデモ、パネル(1枚)、パンフ(200枚)
	Manycolors(株)	北九州市八幡西区	出展内容: ・パネル、基板、タブレット端末を設置
3	株リーボ	福岡市中央区	出展内容:カーシェアリングシステム「こでかけ」の展示 ・A1パネル2枚 ・A4チラシ2種類100枚ずつ ・カーシェアリングシステム(デモキット)
4	株ロジック・リサーチ	福岡市早良区	出展内容:MRUBYを開発環境として使用できるマイコンの紹介、MRUBYを使ったマイコンのデモ、少量多品種LSIの紹介 ・軽量Rubyマイコン開発と動作デモ
5	近畿大学)産業理工学部	飯塚市	出展内容:SynchroSitone(しんくろしとーね〜) ・「ソーシャル電力需給センサーネットワーク」のプレゼンとRubyで実装したAC電源周波数センサーデバイスの展示
6	NPO法人)九州組込みソフトウェアコンソーシアム	福岡市早良区	出展内容:mruby-NXTを用いたLEGO MINDSTORMS NXT ・mrubyに関するパネル(大きさA3x2枚) ・チラシ数種 ・「LED CUBE 4x4x4 GR-SAKURAで動くmruby」(LEDが64個光るモノ)
7	株春田建設	飯塚市	出展内容:デジカメ計速〜クラウドを利用した三次元測量システム ・実機デモ(ノートPC、A2パネル、チラシ)
8	株ホットプロシード	福岡市西区	出展内容:3Dプリンタ「Blade-1」
9	株アイ・エル・シー	広島市南区	出展内容:mruby学習キット EAPL-Trainer mrubyの展示 ・EAPL-Trainer mrubyの現物展示デモ、パンフレット配布 ・現物販売を予定。販売方法は申込書の受付のみ。
10	株ゼットエムピー	東京都文京区	出展内容:1/10サイズのRoboCarとチラシなど ・担当のエンジニアを派遣し、基本手持ち搬入
11	株インターネットイニシアティブ	東京都千代田区	出展内容:SEILの実機とMOGOKの説明パネルとグッズ配布、関連チラシ
12	株ジェイ・エム・シー	横浜市港北区	出展内容:人工心臓、骨格などの光造形
13	情報科学芸術大学院大学[IAMAS]	岐阜県大垣市	出展内容:IAMASの創作物 ・以前に開発していたツールキット(GainerとArduino Fio)の実物(試作の過程も含む) ・現在主な活動として行っているf.Laboでの制作物(実際にすわれるスツールを1点と、ボタン、ペットボトルキャップなど小物) ・それらの資料、書籍など



展示スペースは1800mm×900mmで電源を準備



Coffee Break時、交流会時に各ブースは賑わった。普段で会うことの少ないハードウェア系とソフトウェア系の企業が熱く語り合っていた。(写真は福岡の3Dプリンタ企業「ホットプロシード社」に語りかけるセールスフォース・ドットコム社のCTO及川氏)